

集団の中で起きていることに
目を向ける

「クラスTシャツ」問題

【登場人物】 武田さん、松川さん、井上さん

【状 況】

クラス役員三名で、次回ホームルームの議題について打合せをしている場面

<ダイアログ1>

武田：来週のホームルームで、クラスのTシャツを作ることを提案しよう
と思ってるんだけど、どうかな。どう思う？

松川：いいんじゃない？スポーツ祭とか学校の行事の時に着られるし。

武田：そう！スポーツ祭のほかにも、学校祭のときとかみんなお揃いで着
られるし、クラスの団結っていうのかな、ユニフォームみたいにし
てみんなを着れば、きっと盛り上がると思うんだよね。

井上さんはどう思う？

井上：うん…。特に意見はないよ。

武田：じゃあ、反対はないみたいだから、さっそく提案を資料にまとめる
ね。頼むお店とかどうしよう。そういうの作ったことある？

井上：私はない。

松川：私もない。

武田：じゃあ、まわりに知ってそうな人いるから、聞いてみるね。

このやりとりを報告するとしたら・・・

「クラスのTシャツを作ることについて、役員の一人から提案がありました。

他の二人の役員も同意したので、これを来週のホームルームの議題として取り上げることになりました。

依頼するお店など詳細については、今後さらに検討していく予定です。」

・・・ってな感じ？

武田：来週のホームルームで、クラスのTシャツを作ることを提案しよう
と思ってるんだけど、どうかな。どう思う？

(武田) 我ながらいいアイデアだと思う。
二人が賛成してくれるといいな。

松川：いいんじゃない？スポーツ祭とか学校の行事の時に着られるし。

(武田) よかった！松川さん賛成してくれた！

(松川) 武田さん、すごい乗り気みたい。
自分としてはうんと作りたいわけじゃ
ないけど、やりたい人がいるなら、
別に作ってもいいかも。

(井上) Tシャツかぁ・・・お金がかかるし、本当
に必要かなぁ？

武田：そう！スポーツ祭のほかにも、学校祭のときとかみんなお揃いで着られるし、クラスの団結っていうのかな、ユニフォームみたいにしてみんなで着れば、きっと盛り上がると思うんだよね。
井上さんはどう思う？

（武田）井上さんにも賛成してほしい。
賛成してくれるといいな。

井上：うん…。特に意見はないよ。

（武田）よかった！

（松川）井上さん、なんか歯切れが悪いみたい。
本当は何か言いたいことがあるのかな。

（井上）武田さんすごい乗り気だし、松川さんも賛成してるし、言い出しづらいな…。
言わないでおこう。

武田：じゃあ、反対はないみたいだから、さっそく提案を資料にまとめるね。頼むお店とかどうしよう。そういうの作ったことある？

(武田) よかった！二人が賛成なら、あとは進めるだけだ。

井上：私はない。

松川：私もない。

武田：じゃあ、まわりに知ってそうな人いるから、聞いてみるね。

(武田) 私の提案だけど、一人で何もかもやらなきゃいけないのはちょっと不満。でもまあ仕方ないか…。

(井上) また思ってること言えなかった。私ここにいる意味ないかも…。

やりとりの二つの側面

内容的側面（コンテンツ）

- ・ そこで話し合われている
テーマ
- ・ 集団が取り組んでいる作業
や課題の内容

過程（プロセス）

- ・ その集団の中で、人と人との
関係に起こっていること

「自己概念」

- ・ 「自分」というものの輪郭を形作る、イメージの集合体
- ・ 人と人とのやりとりを通じて、変化するよりもむしろ**固定化**しやすい

武田：来週のホームルームで、クラスのTシャツを作することを提案しよう
と思ってるんだけど、どうかな。どう思う？

松川：いいんじゃない？スポーツ祭とか学校の行事の時に着られるし。

武田：そう！スポーツ祭のほかにも、学校祭のときとかみんなお揃いで着
られるし、クラスの団結っていうのかな、ユニフォームみたいにし
てみんなを着れば、きっと盛り上がると思うんだよね。

井上さんはどう思う？

井上：うん…。特に意見はないよ。

武田：じゃあ、反対はないみたいだから、さっそく提案を資料にまとめる
ね。頼むお店とかどうしよう。そういうの作ったことある？

井上：私はない。

松川：私もない。

武田：じゃあ、まわりに知ってそうな人いるから、聞いてみるね。

<ダイアログ2>

武田：来週のホームルームで、クラスのTシャツを作ることを提案しよう
と思ってるんだけど、どうかな。どう思う？

松川：いいんじゃない？スポーツ祭とか学校の行事の時に着られるし。

武田：そう！スポーツ祭のほかにも、学校祭のときとかみんなお揃いで着
られるし、クラスの団結っていうのかな、ユニフォームみたいにし
てみんなを着れば、きっと盛り上がると思うんだよね。

井上：ちょっと待って。お金もかかるし、クラスみんなが賛成する
とは限らないよ。

松川：まだ決めたわけじゃなくて、武田さんは一つの案として提案してく
れているんだから、もうちょっと話を聞いてみようよ。

武田：このところちょっとクラスもばらばらな感じだから、何かした方がいいんじゃないかと思って。それで、みんなで同じものを着れば、まとまるきっかけになると思うんだよね。

井上：たしかにクラスのまとまりはあまりないかもしれないけど、みんな大人だし、それぞれが自分のことをやってるのが悪いことだと私は思わないけどな。

武田：でも、最終学年でスポーツ祭も学校祭も最後になるのに、みんなで何かしたという思い出もないのはさびしいよ。だからTシャツ作ってみんなを着れば、何か変わるんじゃないかと思って…。

松川：武田さんは、クラス役員として、クラスのために何かできないかと思っているんだね。

武田：松川さんはどう思うの？あまり自分の意見は言っていないと思うけど。

松川：私はどっちでもいいと思う。みんながいいという方で……。

井上：なんだか、このまま話し合って結論出るかなあ。

武田：井上さんは、はじめから話し合う気なんてないんじゃない？
もうやめようか。

松川：いや、そんなこと言わないで……クラスのためを考えてのことなんだから、ちゃんと話し合おう。

井上：私もごめん。必ずしもTシャツにこだわるのでなければ、私もちゃんと考えるよ。

松川：ここまでのところを整理すると、武田さんはクラスがまとまりに欠けてることが気になっているわけね。

それに対して井上さんは、クラスはこのままでいい、と…。

井上：このままでいいというわけじゃない…ただTシャツじゃなくても、という気がする。

武田：反対ってことね。

松川：まあまあ、武田さんもそう結論を急がずに。私、もうちょっと井上さんの考えが聞きたい。

井上：こんなふうに役員が決めるんじゃない、クラスが自由に意見を言い合えたりだとか、そういう機会を作ることが大切なんだと思う。

武田：でも、すぐにそういう雰囲気にはならないじゃない。だからTシャツって考えたんだよ。

- コミュニケーションをきちんととるということは、面倒だし、相手に自分を知らせる覚悟も必要。
- 貢献の仕方はさまざま
提案したり、結論を求めることも、
メンバーを励まし、発言を促すことも、
それに応じて率直に話すことも、すべて貢献になる
- 固定化よりは**変化**が集団と個人の成長につながる
そのためには**過程（プロセス）**に目を向けることも大事